

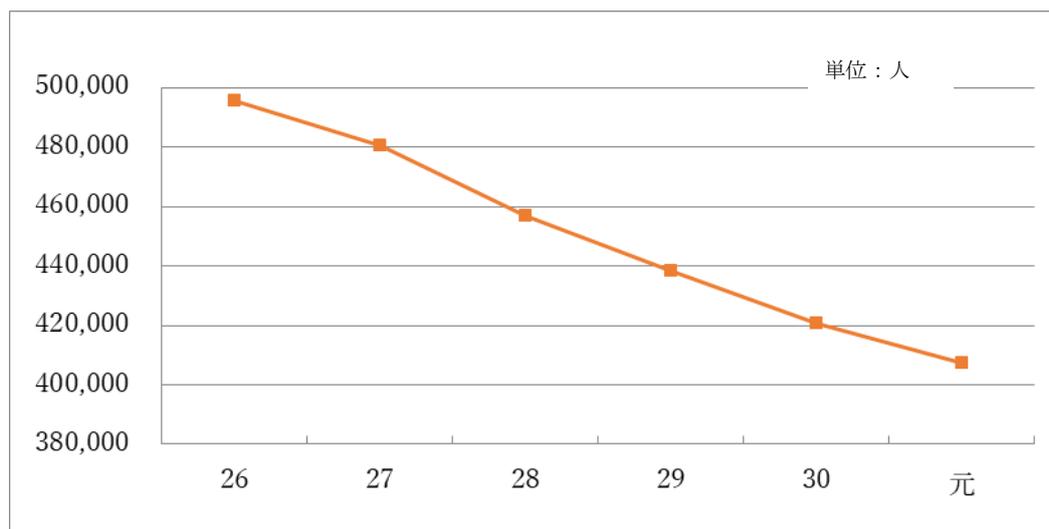
令和元年度国民健康保険の概況

〔1〕令和元年度末における一般状況

県下の被保険者数は 407,394 人（対前年度比 3.2%減）と減少傾向にあります（第 1 図）。被保険者の構成割合は一般が 407,342 人、退職者等が 52 人となっています。

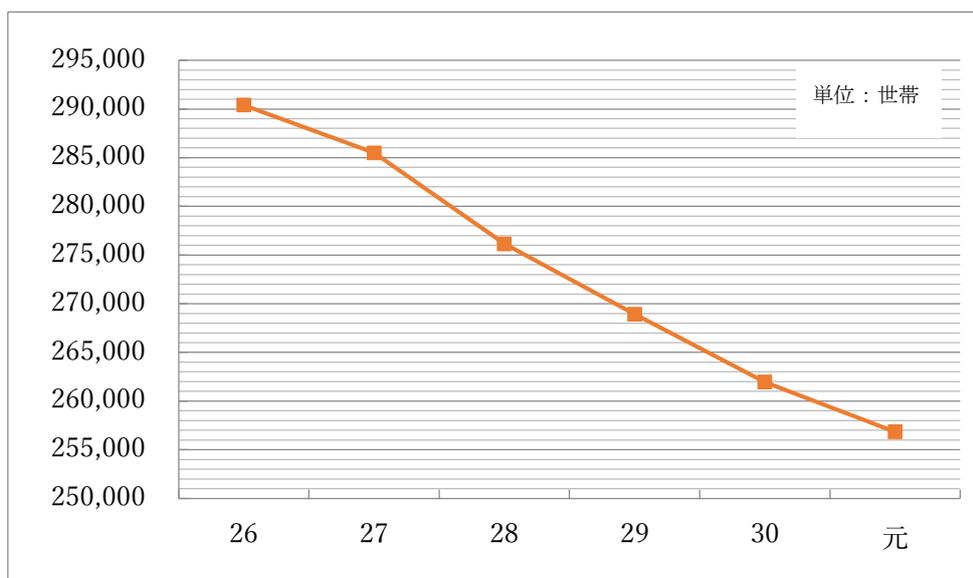
また、加入世帯数は 256,835 世帯（対前年度比 2.0%減）で被保険者数と同様減少傾向にあり（第 2 図）、1 世帯あたりの被保険者数も 1.59 人（対前年度比率 1.2%減）となっており、減少傾向にあります。

第 1 図 年度別被保険者数の推移



年度	26	27	28	29	30	元
被保数	495,384	480,403	457,037	438,420	420,672	407,394

第 2 図 年度別世帯数の推移

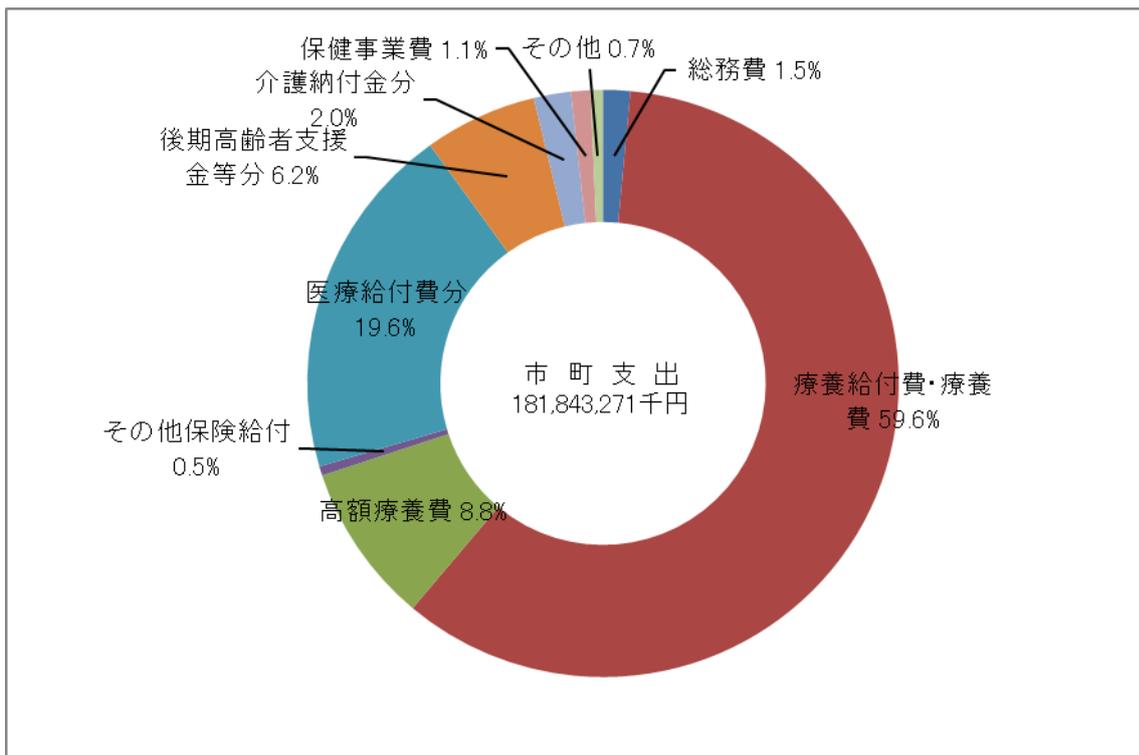
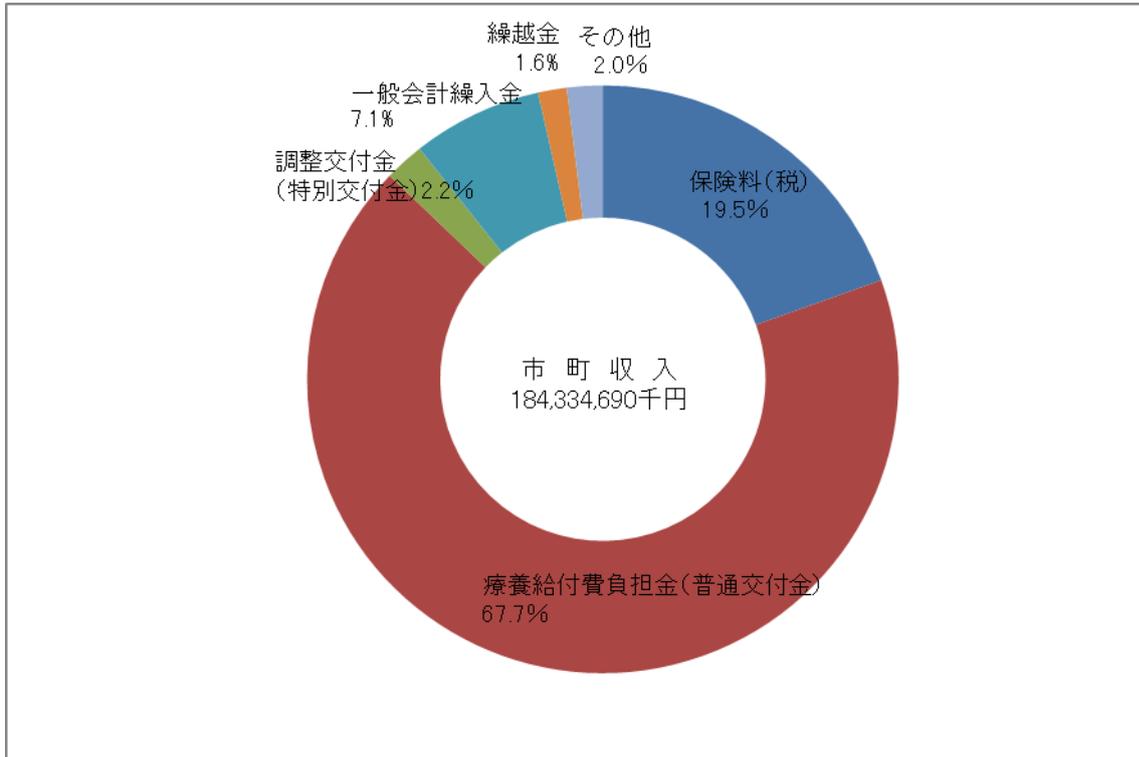


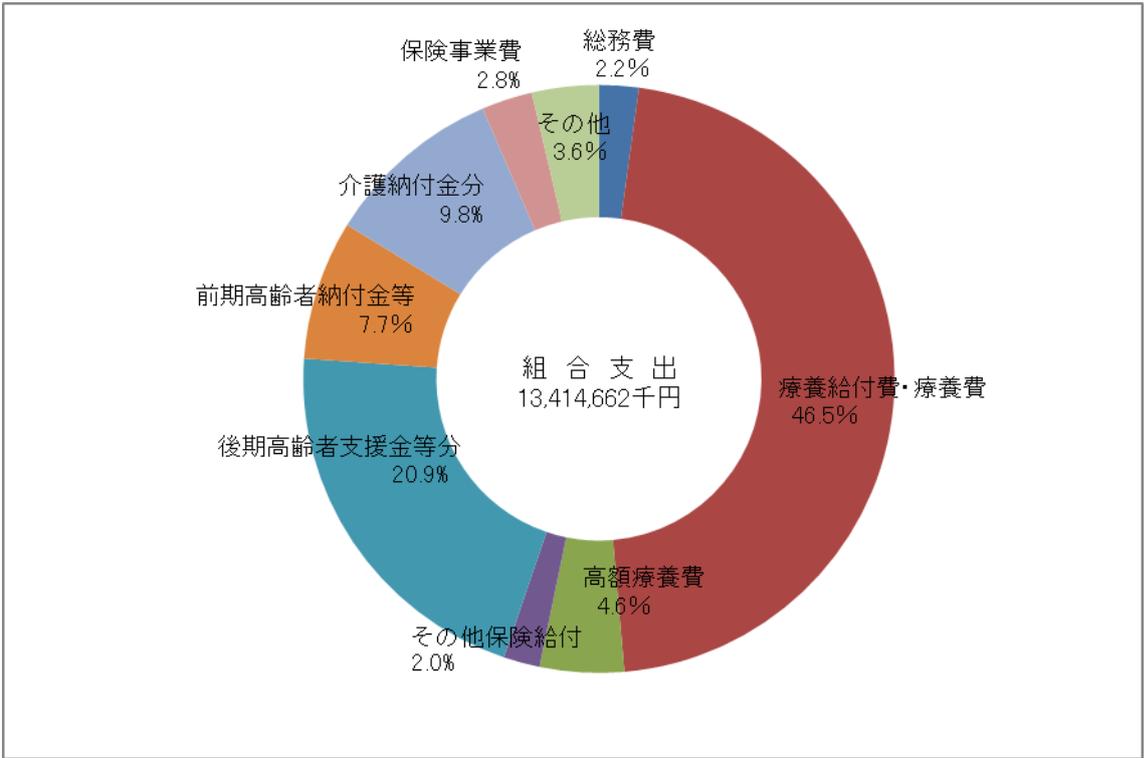
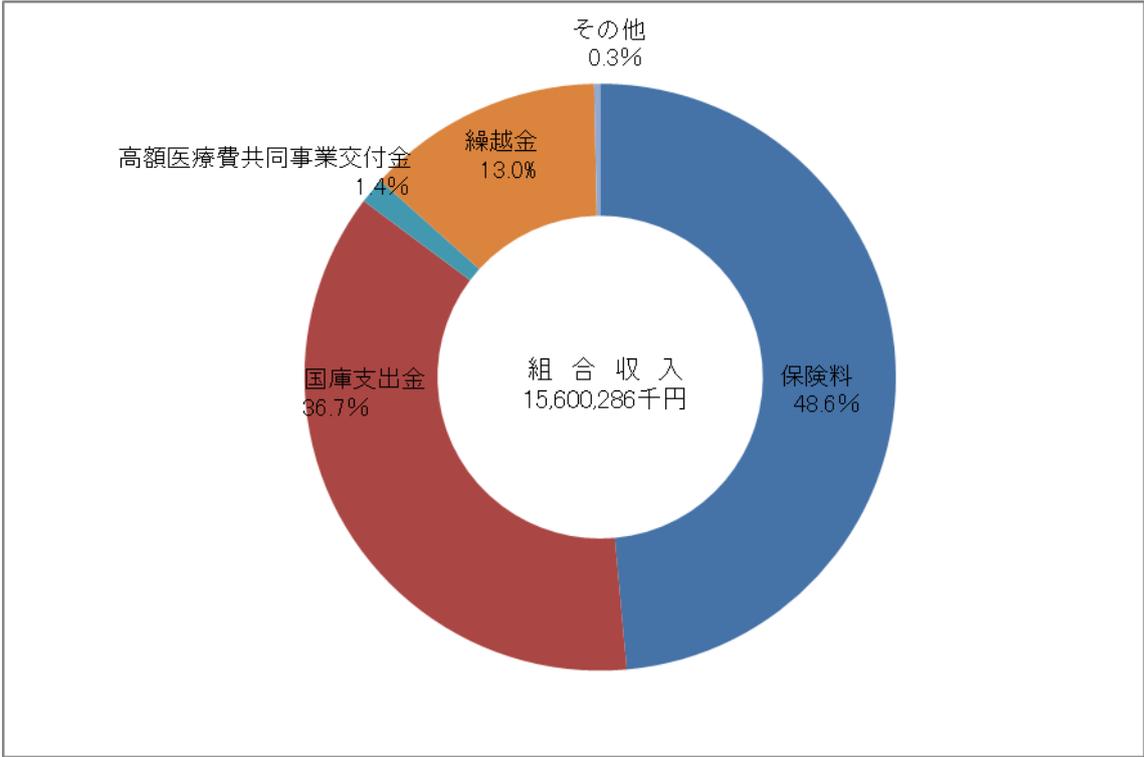
年度	26	27	28	29	30	元
世帯数	290,402	285,493	276,143	268,926	261,955	256,835

〔令和元年度における財政状況〕

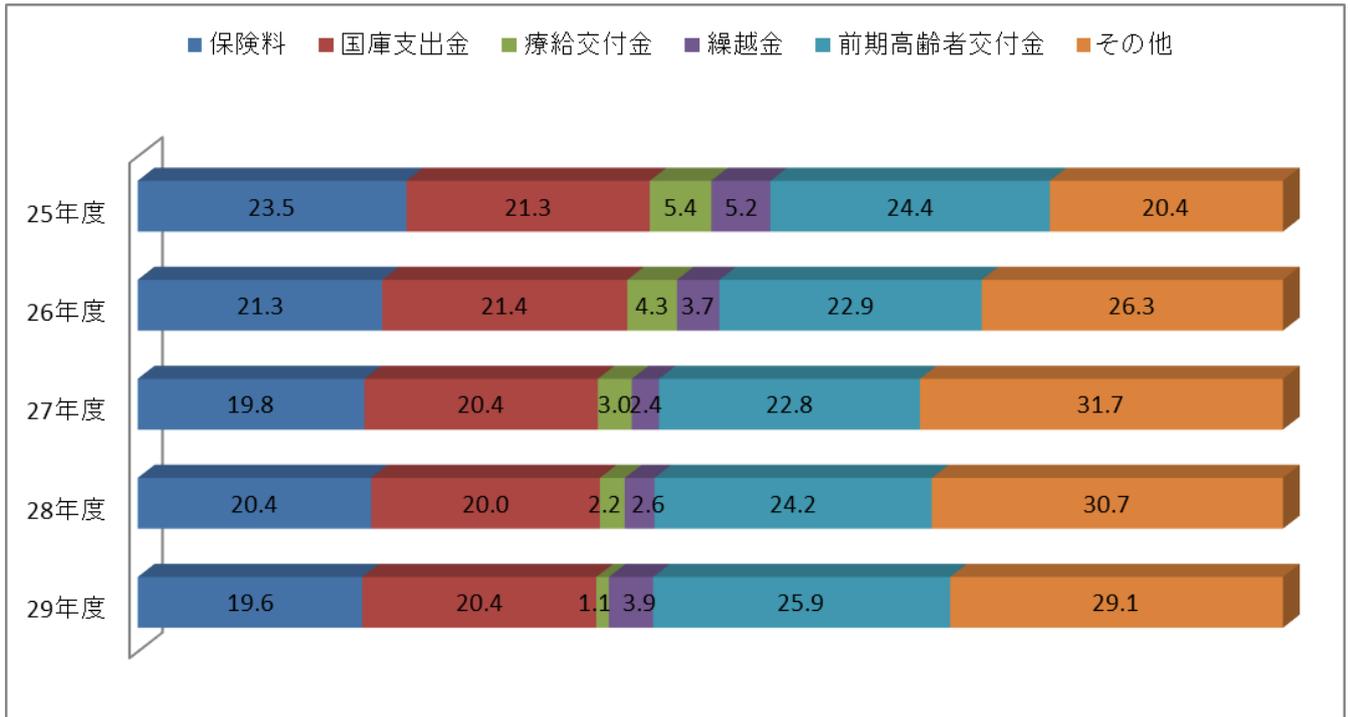
令和元年度における市町、組合の財政状況はそれぞれ、市町の歳入総額 184,335 百万円、歳出総額は 181,843 百万円、組合の歳入総額は、15,600 百万円、歳出総額は 13,415 百万円となっています。

第 3 図 令和元年度収支構成図



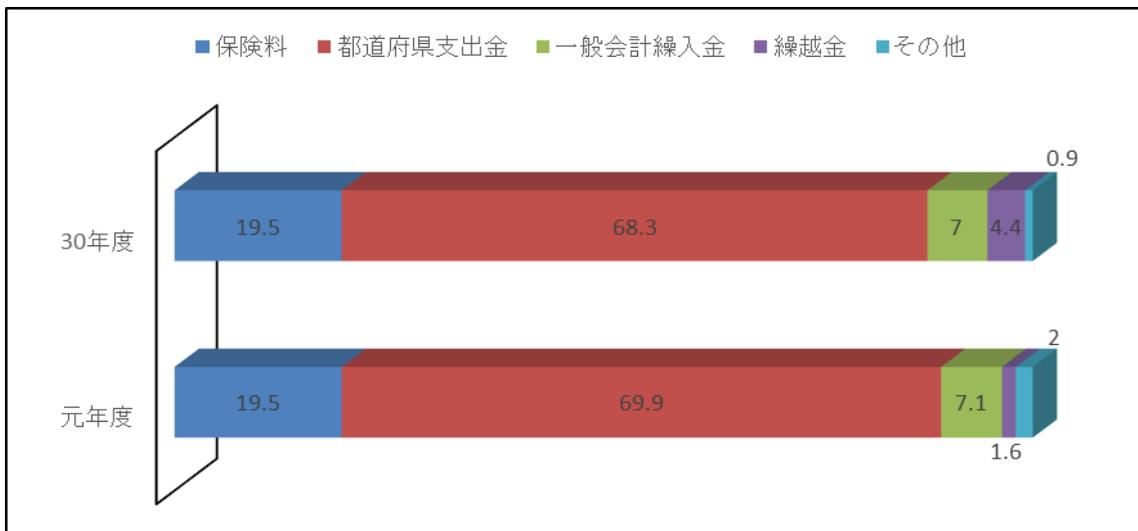


第4図 年度別収支構成比の推移（収入）

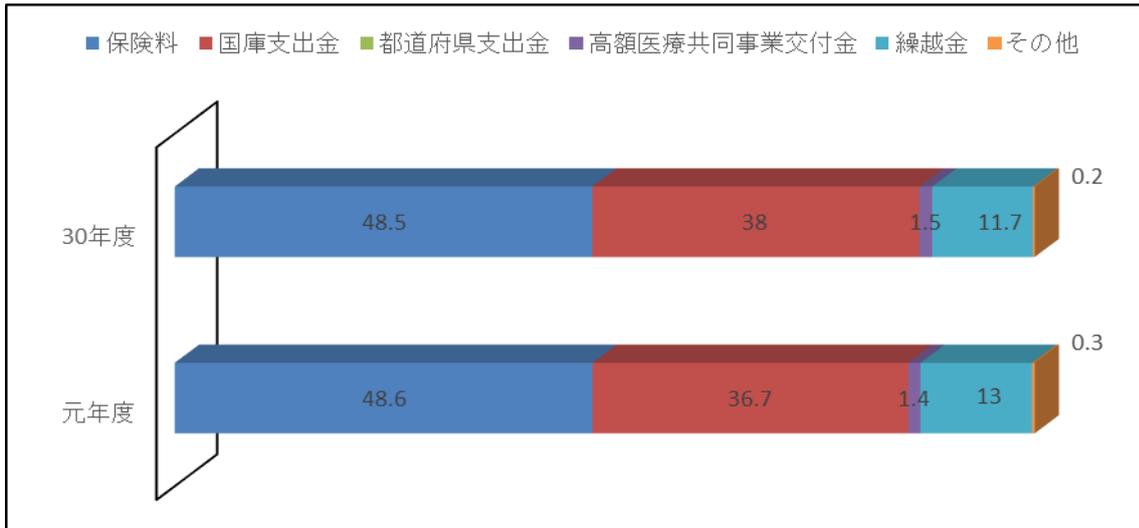


※30年度以降については、国民健康保険法が改正されたことに伴い収支構成が変わったため、市町と組合を分けて掲載します。

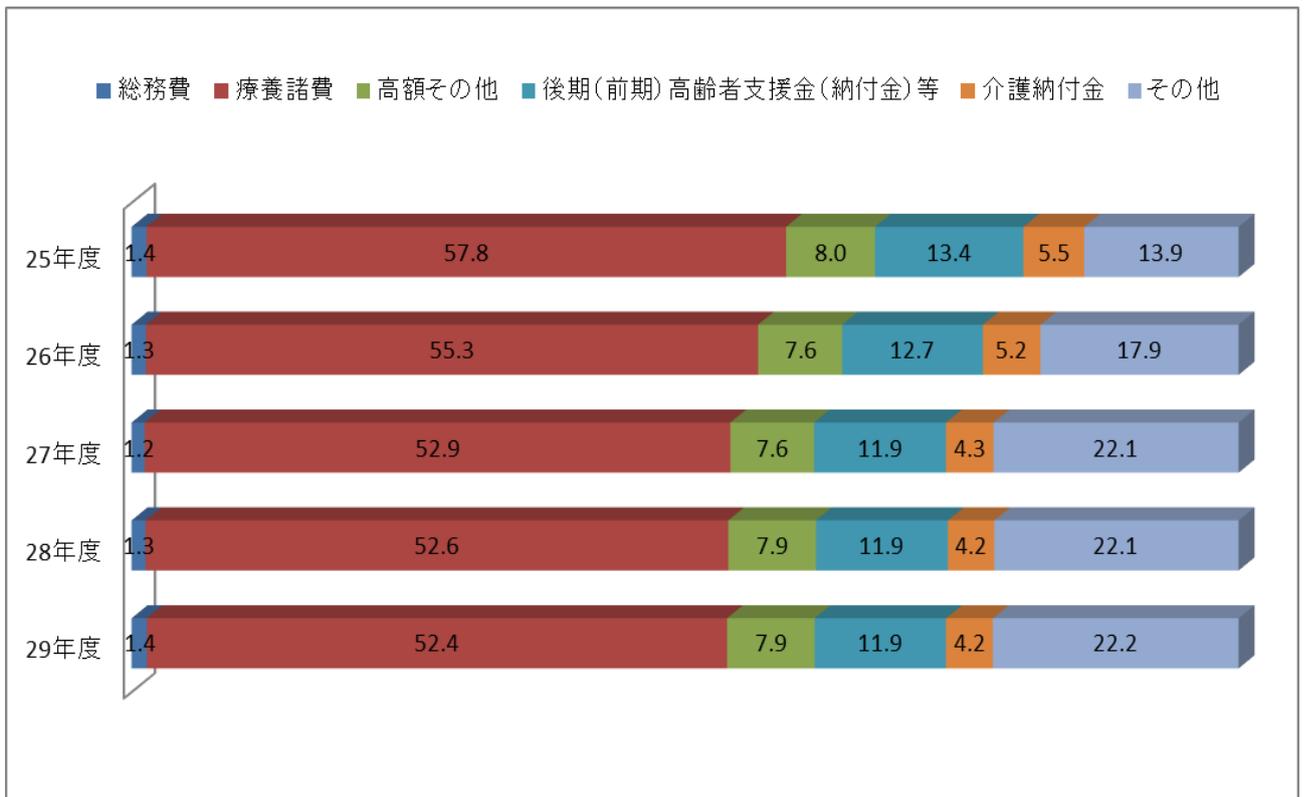
(市町)



(組合)

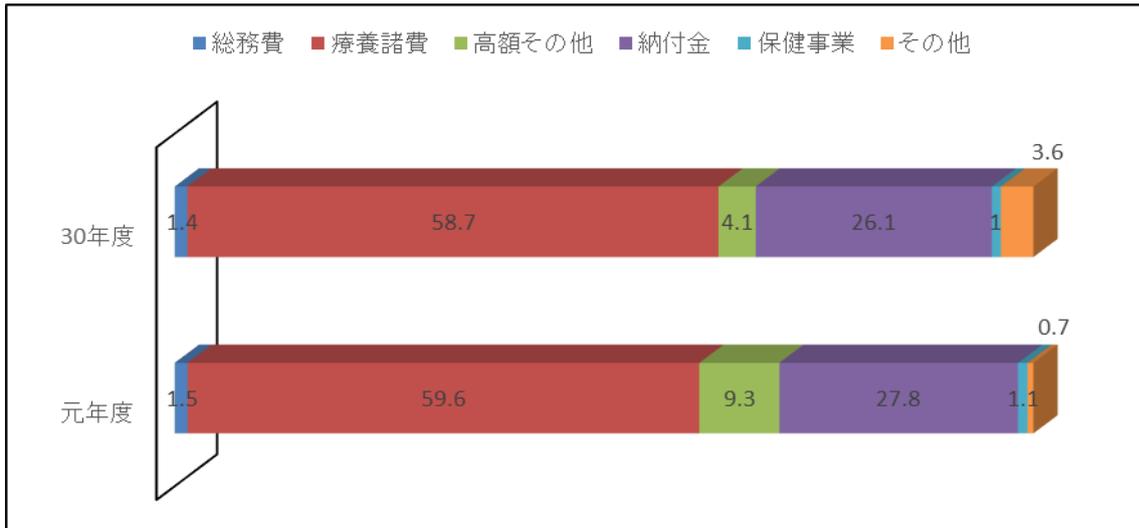


第5図 年度別収支構成比の推移（支出）

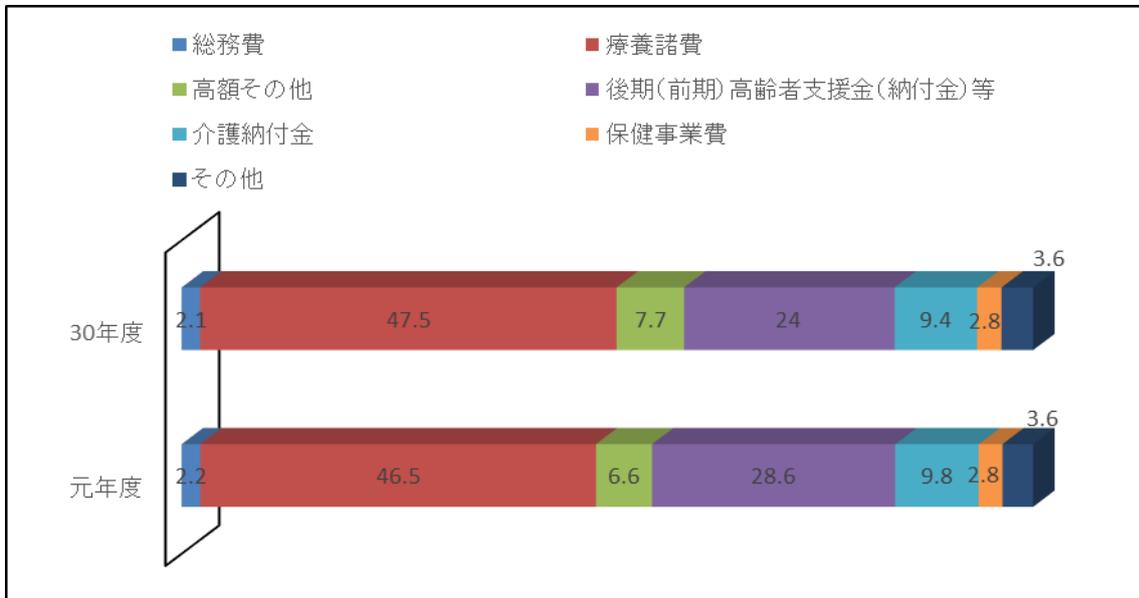


※30年度以降については、国民健康保険法が改正されたことに伴い収支構成が変わったため、市町と組合を分けて掲載します。

(市町)



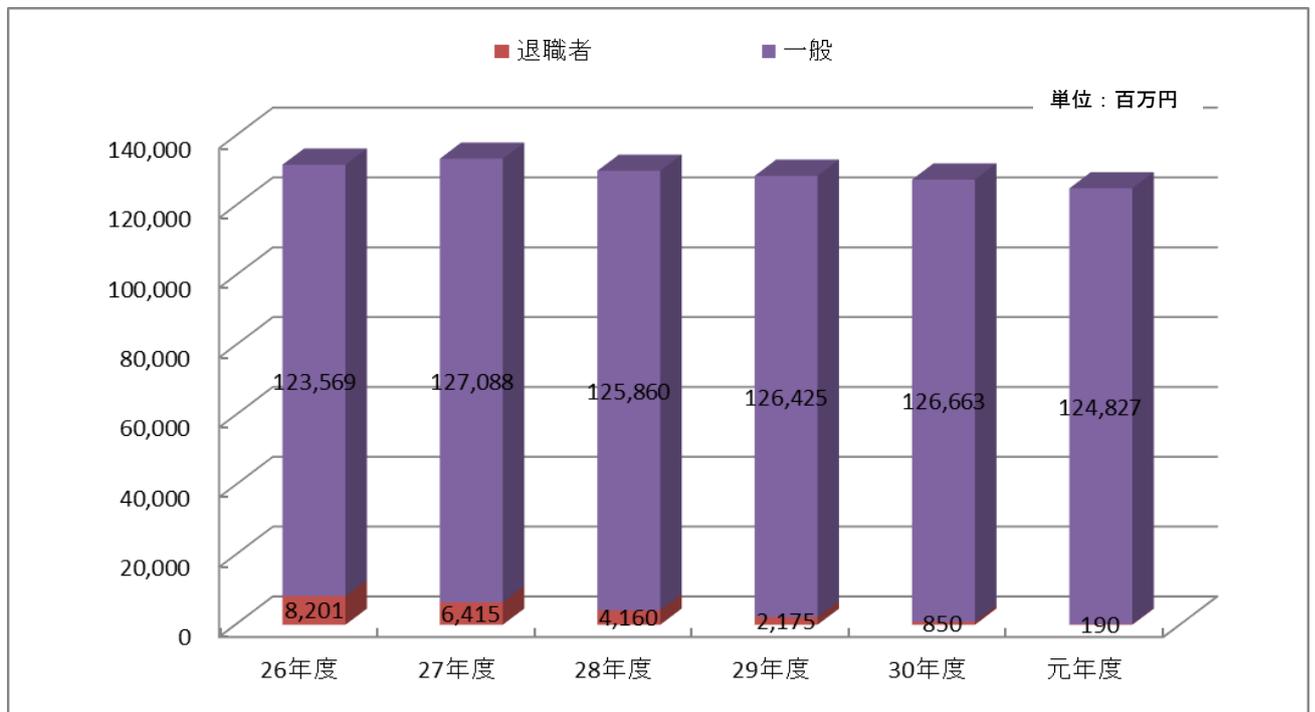
(組合)



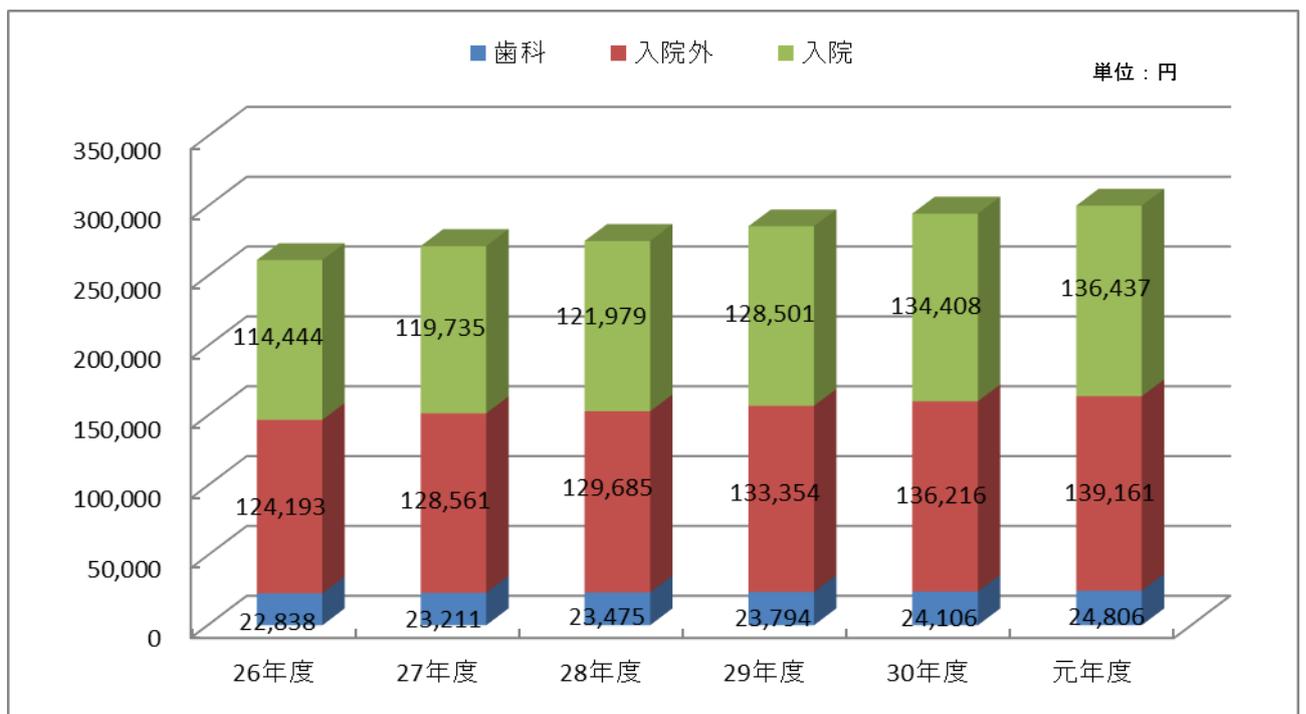
[3]令和元年度診療費の動向

令和元年度の国保診療費の総額は125,016百万円（対前年度比2.0%減）となっています。

第6図 国民健康保険診療費の年度別推移

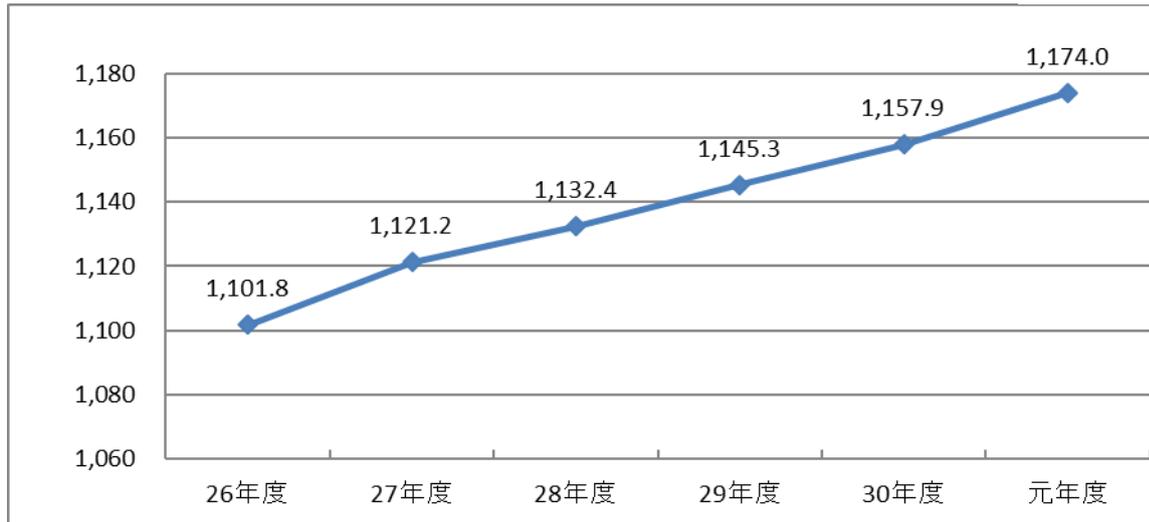


第7図 被保険者1人当たり診療費の年度推移

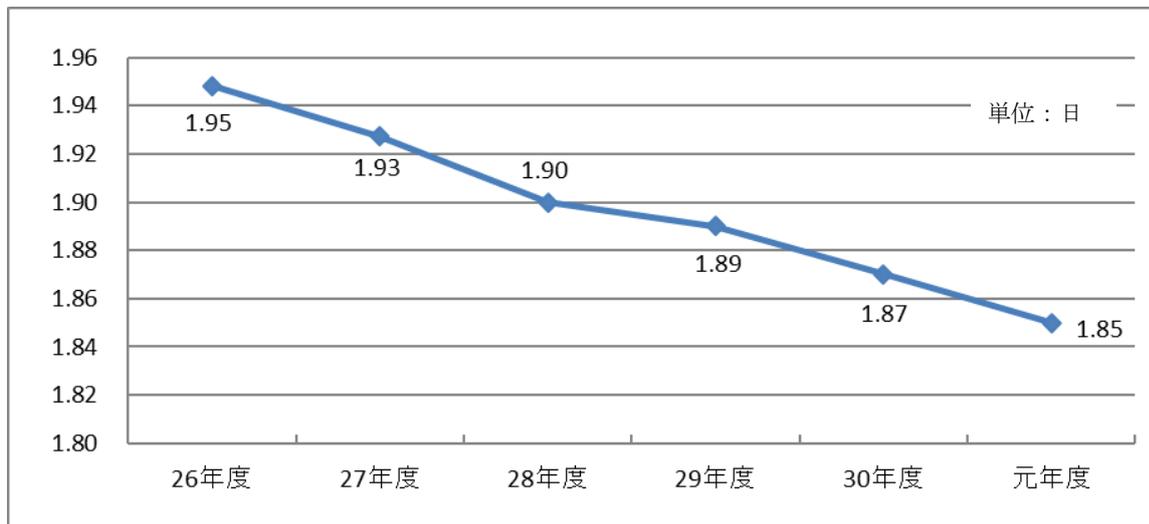


第 8 図 受診率（100 人あたり受診件数）の年度別推移

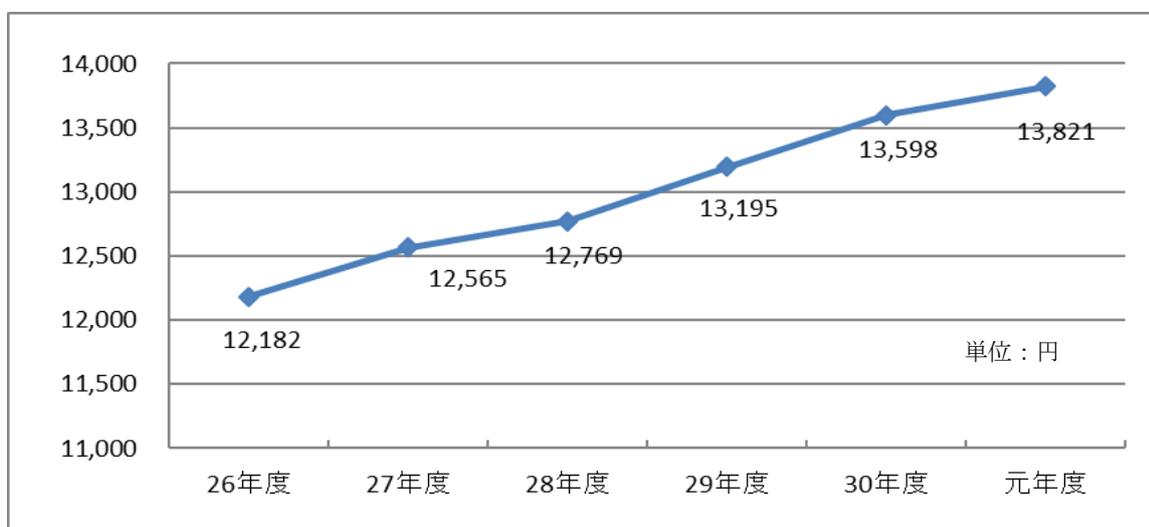
単位：件



第 9 図 1 件当たり日数の年度別推移



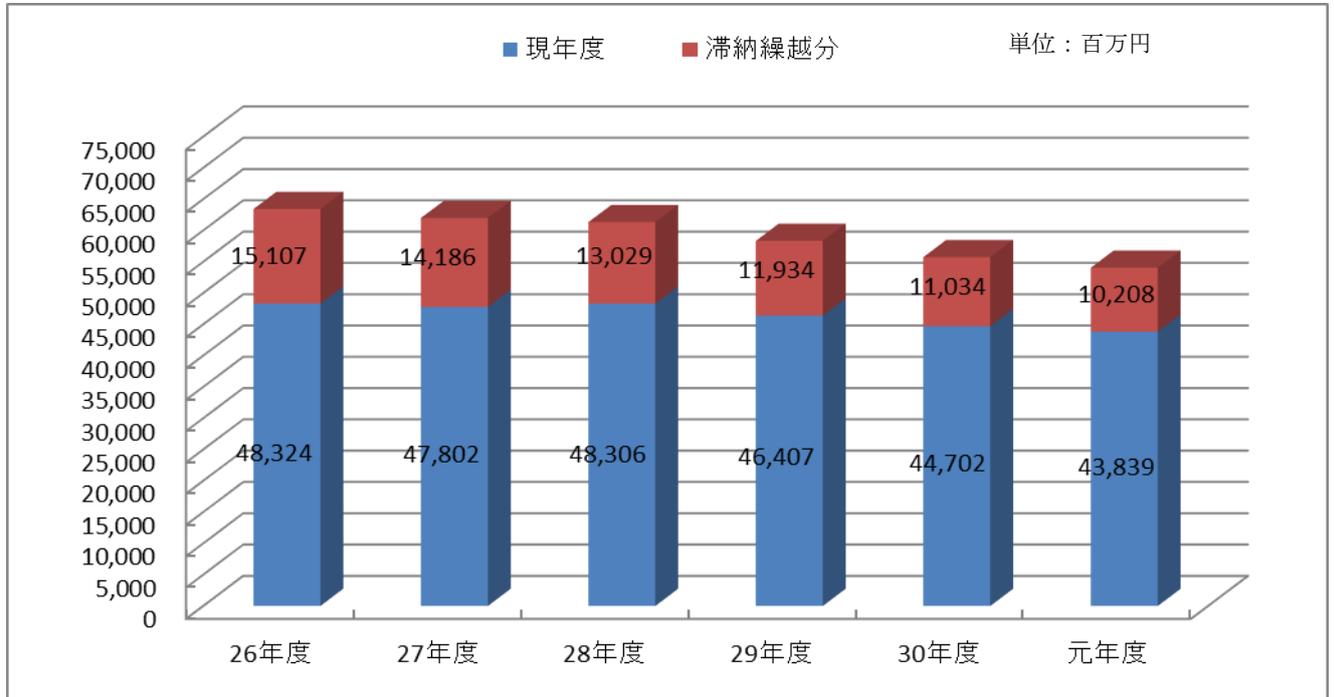
第 10 図 1 日あたり診療費の年度別推移



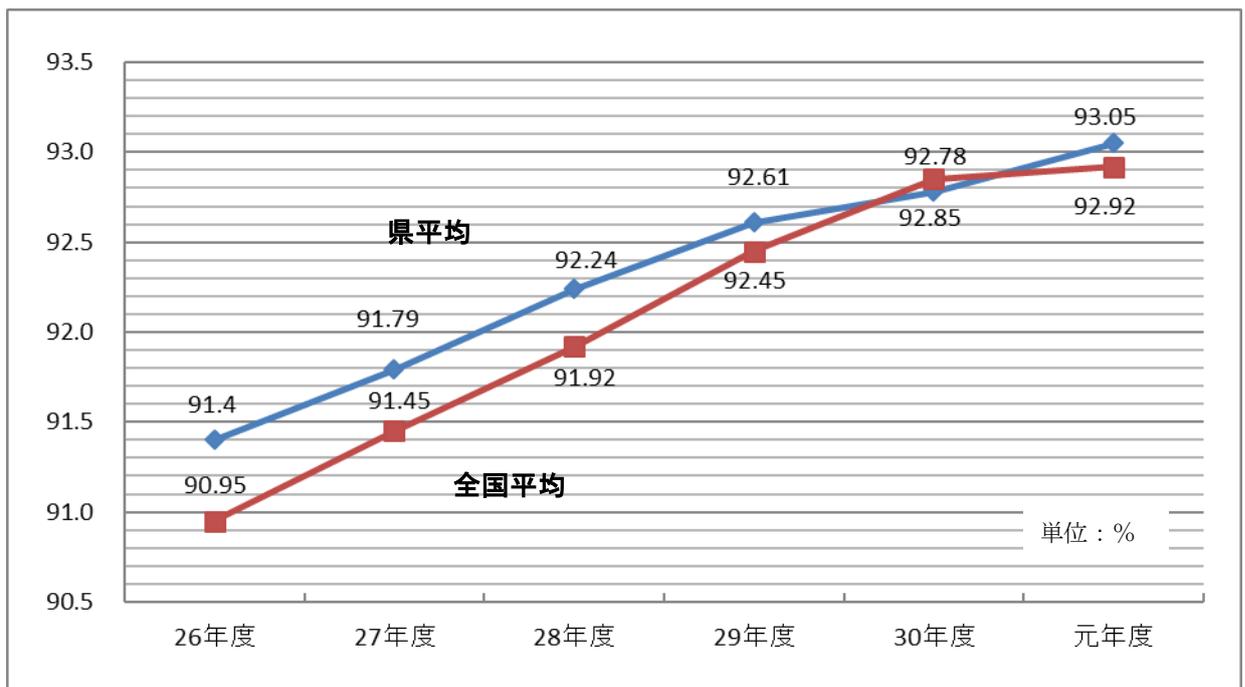
[4]令和元年度保険料(税)の状況

令和元年度における保険料(税)現年度分の調定額は43,839百万円(対前年度比1.9%減)、
 収納額は41,315百万円(対前年度比1.6%減)となっています。収納率の観点から見ると、
 市町平均で前年度と比較して0.2ポイント上昇の93.05%となっています。

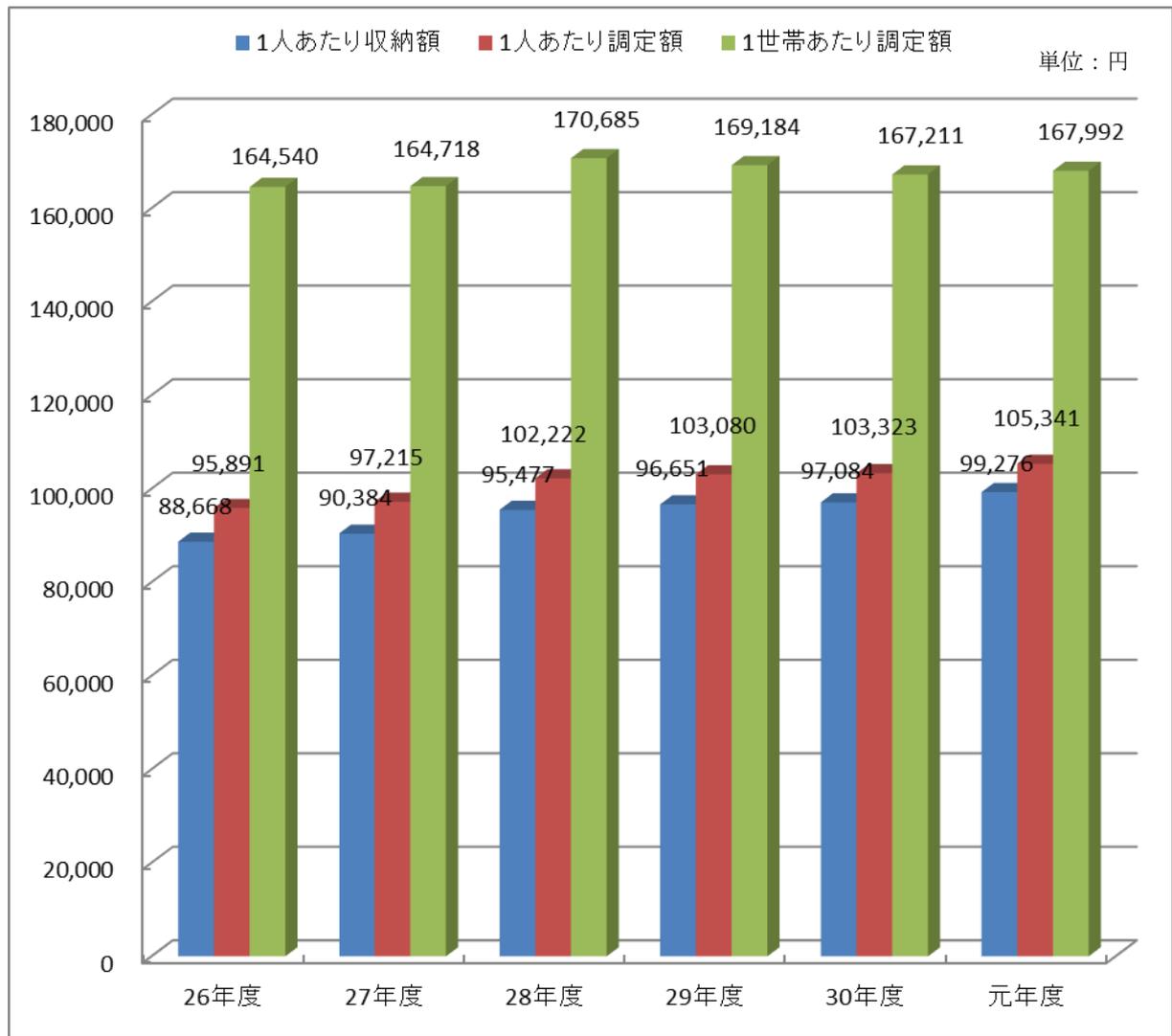
第11図 国民健康保険料(税)調定額の年度別推移



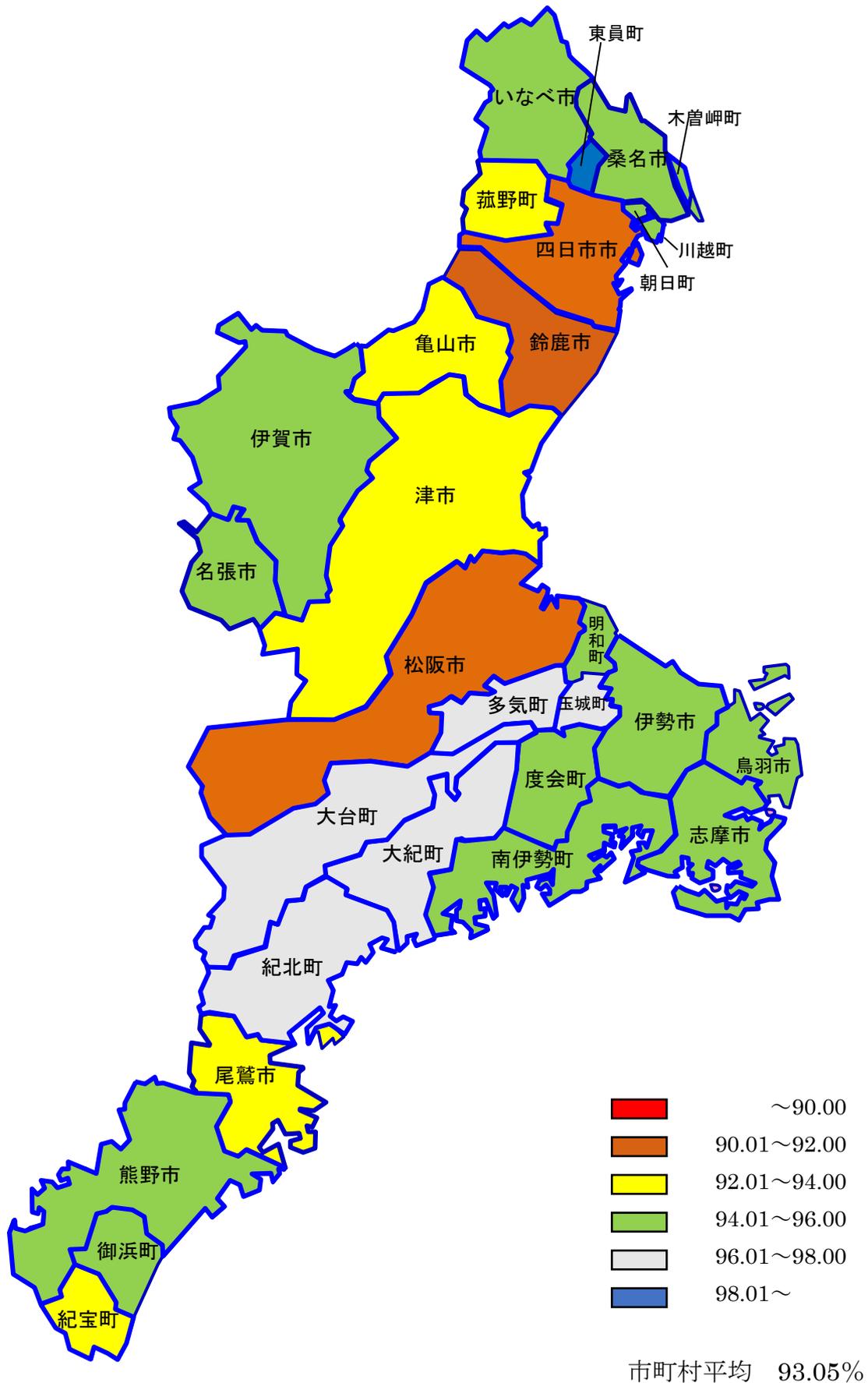
第12図 国民健康保険料(税)収納率の推移(市町・現年分)



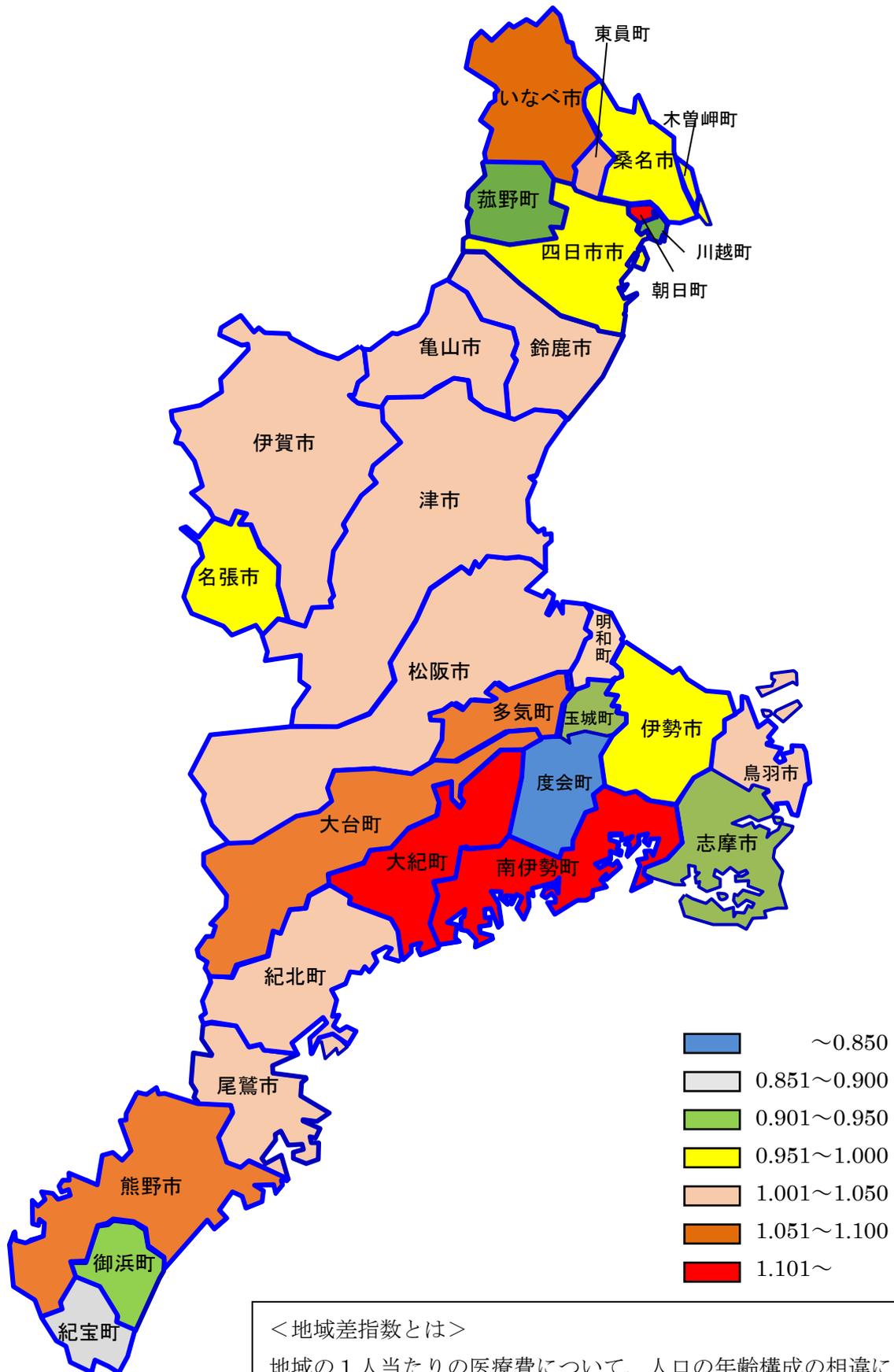
第13図 年度別被保険者一人当たり保険料（税）調定額、収納額及び一世帯あたり調定額



第 14 図 令和元年度保険料(税)収納率(市町・現年度分)



第 15 図 令和元年度市町別地域差指数



<地域差指数とは>
 地域の1人当たりの医療費について、人口の年齢構成の相違による分を補正し、指数化（全国を1）したものの。